

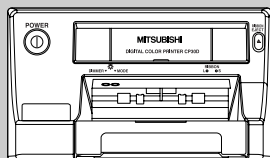
MITSUBISHI

三菱デジタルカラープリンタ

形名

CP30D

取扱説明書



このたびは三菱デジタルカラープリンタをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとききつとお役にたちます。



DIGITAL COLOR PRINTER

特長

簡単装着

挿入口に差し込むだけで簡単にリボンカートリッジが装着できます(オートローディング)。また、使い切ったら自動的に排出されます(オートイジェクト)。

高速プリント

Sサイズのプリント用紙に約16秒の高速でプリントすることができます。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調約1670万色のフルカラー高精細プリントが可能です。

423DPIの高解像度

画像データを鮮明に再現する423DPIの高解像度を実現。緻密な画像もシャープに美しくプリントします。

もくじ

特長	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4～8
使用上のお願い	9～10
開梱	11
各部の名称とはたらき	12～14
前面	12～13
後面	14
コンピュータとの接続	15
USBインターフェイスとの接続	15
DIPスイッチの設定	15
ご使用前の準備	16～20
ペーパー/インクリボンセット	16
プリント用紙の入れかた	16～17
リボンカートリッジの入れかた	18
ペーパー/インクリボンセットの取扱い	19
プリンタドライバのインストールについて	20
トラブルシューティング	21～24
ステータスディスプレイの表示と処置	21
紙づまりの処置	22
サービスをお申しつけの前に	23
インクリボンが切れたときの処置	24
クリーニングについて	25
仕様について	26～27

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた



準備

トラブル






その他




安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 手をはさまないように、注意してください
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	 やけどなど高温による障害に注意してください
 必ずアース線を取り付けてください	 感電による障害に注意してください。	

 警告	
<p>万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!</p> <p>異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。</p>	 プラグを抜く
<p>電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する</p> <p>異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因になります。</p>	 電源プラグがすぐ抜ける場所

警告

煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは電源プラグをすぐ抜く!!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。



使用禁止

キャビネットをはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。
また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



感電注意



分解禁止

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

特にお子様にご注意を
ペーパーカセット挿入口、リボンカートリッジ挿入口や通風孔から金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 束ねない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。



水ぬれ禁止

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。



使用禁止

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

安全のために必ず守ること

警告

正しい電源電圧(交流100V)で使う、また配線器具の定格電流をこえない

交流100V以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流をこえて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。



交流100V

雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

付属の電源コードを使用する

これ以外の電源コードを使うと、外部からの耐ノイズ入力性能が低下したり、火災の原因となります。



付属の電源コード

確実に接地する

電源コードについている3ピン電源プラグを、それに合う接地付きコンセント(3ピン用)に直接差し込んでください。この方法で接地接続を容易に行うことができます。



確実に接地する

注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 製氷倉庫など、低温になるところ
- 自動車内など、振動が多いところ
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 海岸近くなど、塩分の多いところ



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

 注意	
<p>接続したまま本機を移動させない</p> <p>電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。</p>	 禁止
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 プラグを持つ
<p>本機の上に重いものを置いたり、本機の上にはのらない</p> <p>特にお子様にご注意を</p> <p>バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>ペーパーカセット挿入口、リボンカートリッジ挿入口やプリント用紙排出口に手を入れない</p> <p>特に小さなお子様にご注意を</p> <p>ペーパーカセット挿入口、リボンカートリッジ挿入口やプリント用紙排出口内部には用紙を排出するためのゴムローラーやセンサー類およびサーマルヘッドがありますので、手をはさむなどのけがや破損、静電気による障害(機器故障など)の原因となることがあります。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  禁止 </div> <div style="text-align: center;">  手はさみ注意 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  高温注意 </div> <div style="text-align: center;">  静電気注意 </div> </div>
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	 ぬれ手禁止
<p>本体に取り付けるネジは長さ5mm以下のものを使う</p> <p>5mm以上の長さのネジを使うと、感電や障害(機器故障など)の原因となることがあります。</p>	 ネジ長さ 5mm以下
<p>本機内部のサーマルヘッドや金属部には触れない</p> <p>高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。また、静電気による障害(機器故障など)の原因となることがあります。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  高温注意 </div> <div style="text-align: center;">  接触禁止 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  静電気注意 </div>

安全のために必ず守ること

注意

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。

1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。



ほこりを取る

日本国内専用です

この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This DIGITAL COLOR PRINTER is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.



日本専用

紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。



接触禁止

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

5年に一度は内部の掃除を依頼する

販売店にご依頼ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。

内部掃除費用については、販売店にご相談ください。



内部掃除

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといえます)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙やインクリボンの表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。プリント用紙およびリボンカートリッジが装着されているときは、取り出してください。 ●露付きは次のようなときに起こります。 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋を急激に暖房したとき ・エアコンなどの冷風を直接当たるとき ・本機を寒いところから暖かいところへ移動させたとき ●露付きしたプリント用紙およびリボンカートリッジは正常にプリントできない場合がありますので、新しいものと取り替えてください。 	<p>接続機器、接続ケーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。
<p>置き場所、取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。 ●殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。 ●周囲温度は5℃～40℃、湿度は30%～80% RHでお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。 ●本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。 	<p>プリント中は</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機を動かしたり、ペーパーカセットを抜いたりしないでください。プリント不良の原因となります。 ●プリント用紙を引っ張らないでください。プリント用紙排出時は、排出が完了するまでプリント用紙に触れないでください。プリント不良やエラーの原因となります。
<p>電源を切るときは</p>	<p>プリント用紙、インクリボン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プリント用紙排出口に用紙を15枚以上ためないでください。そのままにしておくで紙づまりの原因となります。 ●プリント用紙やインクリボンに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。

<h3>お手入れ</h3> <ul style="list-style-type: none">● 前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。● 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。● ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。	<h3>サーマルヘッドの磨耗と交換</h3> <ul style="list-style-type: none">● サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。
<h3>引っ越しや輸送のときは</h3> <ul style="list-style-type: none">● リボンカートリッジおよびペーパーカセットを取り出してから梱包してください。	<h3>著作権</h3> <ul style="list-style-type: none">● ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。



静電気放電(ESD)：静電気による障害(機器故障など)の可能性があるので注意してください。



交流：電源電圧は交流です。



ON/OFF：電源の接続/切り離しを表します。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

付属の電源コードについて

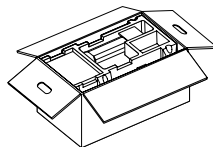
付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

開梱

開梱

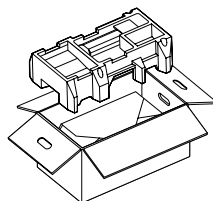
プリンタは下記の手順で箱から取り出してください。付属品はそろっているか、あわせて確認してください。

1 箱を開けます。



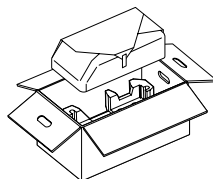
2 付属品をのせたクッションを取り出します。

付属品を落とさないように気をつけてください。

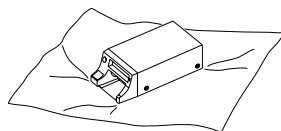


3 プリンタを取り出します。

まっすぐ上に取り出してください。



4 包装を取り除きます。

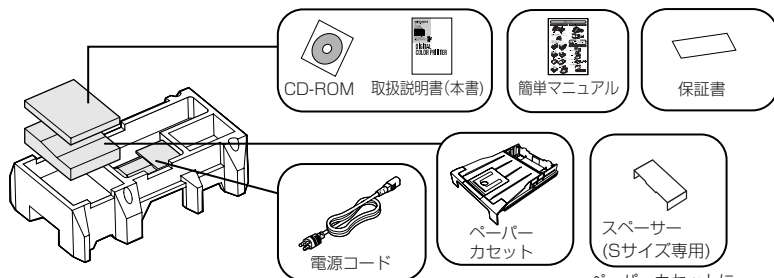


お知らせ

本機を持ち上げるときは、プリント用紙排出口に手を入れないようにしてください。

■ 付属品

クッションの上に入っています。内容を確認してください。



ペーパーカセットに入っています。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

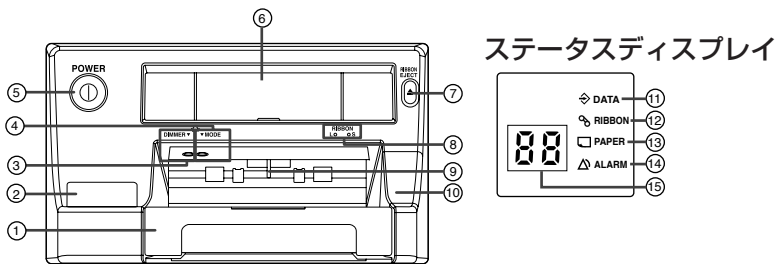
準備

トラブル

その他

各部の名称とはたらき

前面



① ペーパーカセット挿入口／プリント用紙排出口

ペーパーカセットを挿入します。ペーパーカセットの上部でプリント用紙排出口から出てきたプリント用紙を受けます。

② ステータスディスプレイ部

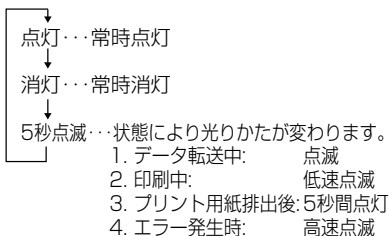
本機の状態を表示します。

③ DIMMERボタン(☉)

プリント用紙排出口の照明とステータスインジケータの明るさを切り替えます。ボタンを長押しするとステータスインジケータのインクリボン残量表示をリセットします。

④ MODEボタン(☉)

ボタンを押すたびに、プリント用紙排出口の照明が以下のように切り替わります。



⑤ POWERボタン(Ⓚ)

電源のON/OFFに使用します。ボタンを押すたびにON/OFFが切り換わります。

⑥ リボンカートリッジ挿入口

内部を保護するためのフラップ(ふた)がついています。

⑦ RIBBON EJECTボタン(▲)

押しとリボンカートリッジが排出されます。

⑧ リボンサイズインジケータ

装着されているインクリボンのサイズを表示します。リボンカートリッジのローディング時、排出(イジェクト)時には点滅します。

⑨ スタックセンサー

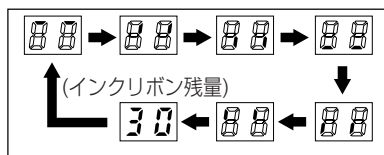
プリント用紙が排出口に一定以上たまると、このセンサーが検知して警告音が鳴ります。手でさわるとプリントできなくなりますので、さわらないでください。

⑩ ダイヤルカバー

紙づまりしたときに処理するためのダイヤルが内部にあります。紙づまりのとき以外は開けないでください。

ステータスディスプレイ

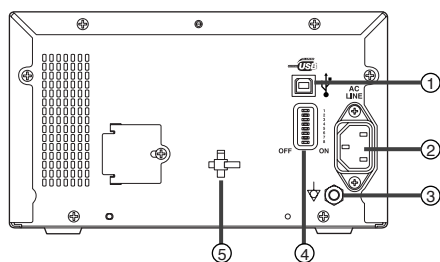
- ⑪ ^{データ}DATAインジケータ(⇄)
データ転送中に点滅します。プリント中は点灯します。
- ⑫ RIBBONインジケータ(%)
インクリボンについてのお知らせがあるとき点灯します。
21ページをごらんください。
- ⑬ PAPERインジケータ(□)
プリント用紙についてのお知らせがあるとき点灯または点滅します。21ページをごらんください。
- ⑭ ^{アラーム}ALARMインジケータ(Δ)
エラーが起こったときに点灯します。
21ページをごらんください。
- ⑮ ステータスインジケータ
残量、エラー、プリント状態を表示します。
プリント中は以下のように表示します。



リボンカートリッジを排出/装着するたびにステータスインジケータの残量カウンターを初期値に設定します。
エラーについては21ページをごらんください。

サーマルヘッドの温度が高くなると、プリント可能な温度に下がるまで - - がゆっくり点滅します。

後面



ユーエスピー
① USB 端子 (ψ)

USBケーブルを接続します。
接続については15ページをごらんください。

ライン
② AC LINEソケット

付属の電源コードを接続するソケットです。
確実に接続してください。

③ 等電位化端子 (▽)

この端子と接続機器を等電位化導線で接続します。
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。
安全のために必ず接続してください。

ディップ
④ DIPスイッチ

本機の機能の設定を行います。設定については15ページをごらんください。

⑤ USBケーブルクランパ

USBケーブルがはずれないように、このクランパで保持します。

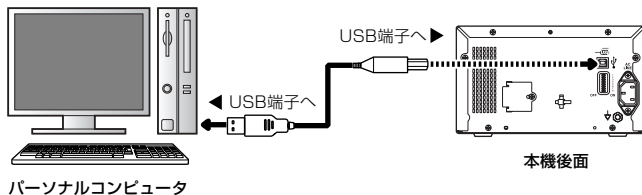
コンピュータとの接続

USBインターフェイスとの接続

■ パーソナルコンピュータと接続する(例)

USBケーブルで本機とパーソナルコンピュータを接続します。

本機とパーソナルコンピュータを以下のように接続します。



お知らせ

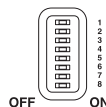
本製品にはUSBケーブルは同梱されていません。市販の2m以下のUSB2.0認証ケーブルをご使用ください。

DIPスイッチの設定

■ DIPスイッチを設定する

出荷時は、すべてOFFに設定されています。

設定を変更するときは、本機の電源をオフにしてください。



スイッチNo.	設定	機能
1	OFF	USB i-Serial No.*1 無効
	ON	USB i-Serial No.*1 有効
2	OFF	OFF側にしてください。
	ON	
3	OFF	OFF側にしてください。
	ON	
4	OFF	OFF側にしてください。
	ON	
5	OFF	OFF側にしてください。
	ON	
6	OFF	プリンタドライバの印刷モードの設定*2に従ってプリントします。
	ON	プリンタドライバの印刷モードの設定*2に関わらず、パワーセーブモードでプリントします。
7	OFF	OFF側にしてください。
	ON	
8	OFF	OFF側にしてください。
	ON	

*1 USB i-Serial No. とは、USB機器が持つ固有のIDのことです。

*2 印刷モードの詳細については、プリンタドライバガイドを参照してください。

安全・
お願い

各部の
名称

接続の
しかた

準備

トラブル

その他

ご使用前の準備

プリントする前に次の準備をしておきます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 ペーパーカセットにプリント用紙を入れます。
- 3 プリント用紙の入ったペーパーカセットを入れます。
- 4 リボンカートリッジを入れます。(18ページ)
- 5 プリンタドライバをインストールします。(20ページ)

ペーパー/インクリボンセット

本機でプリントされる場合は必ず下記の専用品をお使いください。

■ ペーパー/インクリボンセット (プリント用紙+リボンカートリッジ)

形名	サイズ	プリント数	用途	備考
CK30S	Sサイズ	80枚	カラープリント用	3パック入り
CK30L	Lサイズ	50枚	カラープリント用	4パック入り

プリント用紙の入れかた

ペーパーカセットを、使用する用紙サイズに合わせて調整します。長さや幅の合わない用紙を無理に入れしないで下さい。

お知らせ

- ・ 本プリンタ専用のペーパーカセット以外は使わないで下さい。

- 1 ペーパーカセットのトレイ(カバー)とスペーサーを取りはずします。
- 2 包装から、プリント用紙を印画面保護用の保護シートごと全部取り出します。

お知らせ

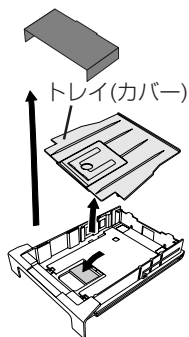
- ・ 一番上の用紙は保護シートです。印画面にふれないよう、用紙の端を持って保護シートごと取り出してください。印画面に指紋等がつくと、印画面に汚れが付くことがあります。

- 3 保護シートとともに、用紙をよくさばきます。

お知らせ

- ・ 用紙どうしが貼り付いている場合があります。よくさばいて下さい。
- ・ 用紙を落とさないように注意してください。

スペーサー

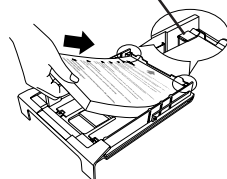
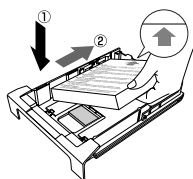


- 4 保護シートを上にして用紙をペーパーカセットに入れます。

このとき金属製タブ(爪)の上に用紙が乗り上げていないことを確かめます。

Sサイズ用紙使用時

Lサイズ用紙使用時

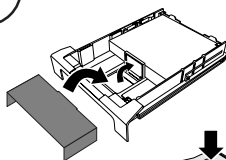


- 5 保護シートを取り除きます。

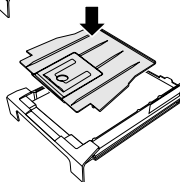
お知らせ

- ペーパーカセットにはご使用になるペーパー/インクリボンセットの1袋分の用紙のみをセットするようにしてください。

このときプレートをおこし、スペーサーをはめます。(Sサイズ用紙使用時のみ)



- 6 ペーパーカセットにトレイ(カバー)をかぶせます。



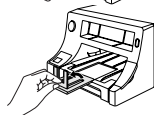
- 7 ペーパーカセットをプリンタ本体に突き当たるまで差し込みます。



ローラー、センサー(奥、底面)



- 8 Lサイズの用紙を使用するときはトレイのストッパーを起こします。



⚠ 注意



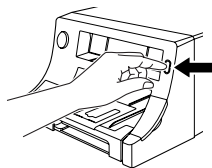
ペーパーカセット挿入口およびリボンカートリッジ挿入口より奥へ手を入れないでください。内部には可動部(レバースイッチやローラー)および静電気に弱い部品があります。

リボンカートリッジの入れかた

リボンカートリッジを入れる前に、本機の電源が入っていることを確認してください。

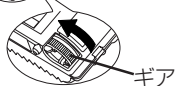
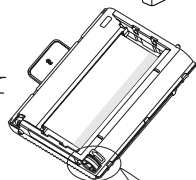
1 RIBBON EJECTボタンを押して使用済みリボンカートリッジを取り出します。

初めて本機を使用する場合は、この操作は不要です。



2 インクリボンのたるみをとります。

ギアを矢印(リボンカートリッジの裏側にあります)の方向に回してたるみをとります。



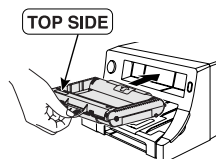
(リボンカートリッジ裏側)

お知らせ

たるんだまま差し込むと、リボンカートリッジ挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。

3 リボンカートリッジを挿入口に入れます。

- 必ず取っ手を持って入れてください。
- 「TOP SIDE」と表示されている面を上にして、矢印方向に入れてください。



プリント用紙とリボンカートリッジの装着は以上で完了です。



お知らせ

- プリント用紙は排紙口に15枚以上ためないでください。
- ペーパーカセットは確実にセットしてください。きちんとセットされていないと紙づまりの原因となります。
- プリント用紙とリボンカートリッジの交換は必ず同時に行なってください。

注意



ペーパーカセット挿入口およびリボンカートリッジ挿入口より奥へ手を入れないでください。内部には可動部(レバースイッチやローラー)および高温部や静電気に弱い部品があります。

ペーパー/インクリボンセットの取扱い

■ プリント前の取扱い

- ・ プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。
- ・ 低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。このような場合には、しばらく室内に放置してからご使用ください。
- ・ プリント中にプリント用紙やインクリボンがなくなった場合は、プリント動作が停止し、RIBBON/PAPERインジケータが点灯・点滅します。新しいリボンカートリッジとプリント用紙をセットしてください。
- ・ 濡れたプリント用紙や、折ったり曲げたりしたプリント用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ 指でインクリボンに触れたり、インクリボンを引き出したりしないでください。印画品質の低下の原因になる場合があります。
- ・ インクリボンを使いきったときは、新しいリボンカートリッジと交換してください。使用済みのリボンカートリッジは使用できません。
- ・ プリント用紙、リボンカートリッジは、使用直前に包装袋から取り出すようにしてください。
- ・ プリント用紙、リボンカートリッジは、必ず同一個装箱内の組み合わせでご使用ください。異なる箱の組み合わせでは不具合が生じる場合があります。同一個装箱内の袋違いは区別しなくてもかまいません。

■ プリント後の取扱い

- ・ プリントされた紙を湿った手で持つと、変色しますのでご注意ください。
- ・ 紙が揮発性有機溶剤(アルコール・エステル・ケトン類など)を吸収すると、画像が退色します。
- ・ セロテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。
- ・ プリント後の紙は絶対にペーパーカセットに戻さないでください。紙詰まりの原因となります。
- ・ プリント後の紙は、なるべく蛍光灯や直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ ペーパー/インクリボンセットの保管

- ・ 軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で脱色します。
- ・ ペーパー/インクリボンセットは直射日光や暖房器具のそばを避け、温度-20℃～30℃、湿度20%～80%RHで保管してください。

■ ペーパー/インクリボンセットの廃棄

- ・ ペーパー、リボンカートリッジはプラスチック製品です。原則として、市町村条例に従って分別し、適用できる回収、または廃棄をしてください。

プリンタドライバのインストールについて

- 接続したパーソナルコンピュータのデータを本機でプリントするためには、プリンタドライバが必要です。
同梱のCD-ROMにはWindows®が動作するコンピュータ用のプリンタドライバが入っています。

プリンタドライバ名	動作環境
CPD30X	Microsoft® Windows® 2000、Windows® XP 日本語版上で動作可能

- プリンタドライバのインストール方法など、くわしくは同梱のCD-ROMに入っている「プリンタドライバガイド」をごらんください。
- Windows 2000とWindows XPは米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

トラブルシューティング

ステータスディスプレイの表示と処置

■ 本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は、本機前面のインジケータが点灯または点滅しエラーを知らせます。この場合は下表を参考に処置を行ってください。

プリント中にエラーが生じた場合、本機の電源を切らなければ、エラーが解除された後自動的にプリントが再開されます。

○：点灯 ○●：点滅 ●：消灯

ステータス インジケータ	RIBBON	PAPER	ALARM	原因 / 処置	参照 ページ
	○	●	●	リボンカートリッジが装着されていない。 リボンカートリッジが終了した。 ・新しいリボンカートリッジを装着してください。	18
 (インクリボン 残量)	●	○	●	ペーパーカセットが装着されていない。 ・プリント用紙の入ったペーパーカセットを装着してください。	16
	●	○●	●	プリント用紙が終了した。 ・新しいプリント用紙を装着してください。	16
 点滅	●	○	●	プリント用紙が出口にたまっている。 ・プリント用紙を取り除いてください。	12
	●	●	○	フラップが開いている。 ・フラップを閉じてください。 ダイヤルカバーが開いている。 ・ダイヤルカバーを閉じてください。	12
	○	●	●	本機で使用できないリボンカートリッジが装着されている。 ・正しいリボンカートリッジを装着してください。 パーソナルコンピュータの設定と、装着されているリボンカートリッジ/プリント用紙の組み合わせが正しくない。 ・パーソナルコンピュータの設定とリボンカートリッジ/プリント用紙を正しい組み合わせにしてください。	16, 18, 27 16-18
	○	○	●	違うサイズのプリント用紙が装着されている。 ・リボンカートリッジとプリント用紙は(同じ箱に入っている)正しい組み合わせにしてセットしてください。	16-17
 点滅	●	●	○	給紙ミス ・ペーパーカセットを一度抜き、再装着してください。	12
 点滅	●	●	○	紙づまりが発生した。 ・「紙づまりの処置」をごらんの上、処置してください。	22
 点滅	●	●	○	印画中にダイヤルカバーが開いた。 ・本機の電源を切りダイヤルカバーを閉じてから、再度電源を入れてください。	12
 点滅	●	●	○	その他のエラー(メカエラー、システムエラー) ・電源を切り、販売店にご連絡ください。	--

安全・
お願い

各部の
名称

接続の
しかた

準備

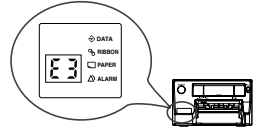
トラブル

その他

紙づまりの処置

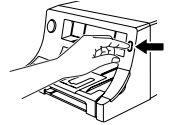
- 1 ステータスディスプレイでエラー表示を確認します。

E3が表示されていたら、手順2へ進みます。



- 2 RIBBON EJECTボタンを押してリボンカートリッジを取り出します。

RIBBON EJECTボタンを押してもリボンカートリッジが排出されないときは、一度本機の電源を切り、再度電源を入れてください。それでも排出されない場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。



- 3 ペーパーカセットを取り出します。

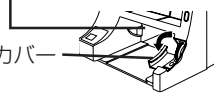


- 4 ダイヤルカバーを開けます。



ローラー、センサー(奥、底面)

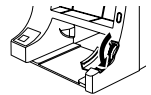
ダイヤルカバー



- 5 ダイヤルカバーの内部にあるダイヤルを回し、つまった用紙を排出します。

お知らせ

ダイヤルは矢印の方向にのみ回してください。反対向きには回さないでください。故障の原因となります。ダイヤルを回してもつまった用紙が排出されない場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。



- 6 ダイヤルカバーを閉じます。



- 7 ペーパーカセットを装着します。

- 8 リボンカートリッジを装着します。

インクリボンのたるみをとって、必ず取っ手を持って入れてください。

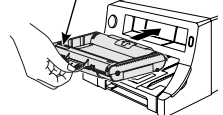


注意




ペーパーカセット挿入口およびリボンカートリッジ挿入口より奥へ手を入れないでください。内部には可動部(レバースイッチやローラー)および高温部や静電気に弱い部品があります。

TOP SIDE



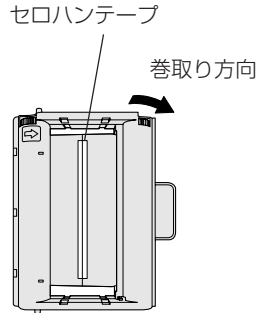
サービスをお申しつけの前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原 因 / 処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ → 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 → 保護回路が働いている場合がありますので、電源をOFFにして約2分間お待ちください。その後電源をONにしてください。
プリントできない	プリントする画像をデータ転送していますか？ リボンカートリッジ、またはプリント用紙が終了していませんか？ → 再確認してください。 ペーパーカセットは確実に押し込まれていますか？ → ステータスディスプレイの表示を確認してください。「ステータスディスプレイの表示と処置」(21ページ)をごらんの上、処置してください。 ステータスインジケータが点滅していませんか？ → ステータスインジケータが  表示でゆっくり点滅しているときは、サーマルヘッドの温度が高くなっていることが考えられます。サーマルヘッドの温度が下がるまでしばらくお待ちください。
コンピュータからの画像を転送してもプリントできない	本機の電源は入っていますか？ 正しく接続されていますか？ → 再確認してください。
リボンカートリッジが取り出せない	→ 一度電源を切り、再度電源を入れてから、RIBBON EJECTボタンを押してください。それでも取り出せない場合はお買上げの販売店にご連絡ください。
リボンカートリッジが装着できない	本機の電源は入っていますか？ すでにリボンカートリッジが装着されていませんか？ → 再確認してください。

インクリボンが切れたときの処置

- 1 リボンカートリッジをゴミやほこりのないきれいな場所に置きます。
- 2 透明なセロハンテープなどを使って、インクリボンの切れた両端を図のように中央一カ所をつなぎます。



- 3 リボンカートリッジのギアをセロハンテープが見えなくなり、インクリボンがぴんと張るまで矢印方向に巻取ります。
- 4 リボンカートリッジをプリンタにセットします。

クリーニングについて

本機を長期間安定してお使いいただくために、CP30用クリーニングキット
(別売：形名 CS30)でサーマルヘッドをクリーニングしてください。

クリーニングキットについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

安全・
お願い

各部の
名称

接続の
しかた

準備

トラブル

その他

仕様について

仕様

製品名	デジタルカラープリンタ		
形名	CP30D		
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画(イエロー、マゼンタ、シアン)		
プリント画素数	Sサイズ	1600×1200ドット	
	Lサイズ	2100×1600ドット	
解像度	423 DPI (DPI:Dot per inch)		
階調数	256階調 (8ビット 約1,670万色)		
印画時間	Sサイズ時	約16秒/画面	
	Lサイズ時	約25秒/画面	
印画シート	専用インクリボン方式		
プリント用紙	専用紙 Sサイズ	100 mm × 94 mm	印画サイズ 96 mm × 72 mm
	Lサイズ	148 mm × 100 mm	印画サイズ 126 mm × 96 mm
給紙方法	自動給紙		
インターフェイス	Hi-Speed USB (Ver. 2.0)		
定格	100V ~ 50/60Hz 1.8 A (待機時 0.2 A)		
使用環境条件	温度5℃~40℃		
	湿度30%~80% RH(結露なし)		
	気圧700 hPa~1060 hPa		
輸送/保管環境条件	温度-20℃~60℃		
	湿度30%~80% RH(結露なし)		
	気圧500 hPa~1060 hPa		
設置条件	動作姿勢水平±5° (以内)		
外形寸法	幅212 mm×奥行425 mm×高さ125 mm		
質量	約7.3kg (本体のみ)		
付属品	電源コード(1本)、取扱説明書(本書)、簡単マニュアル(1枚)、CD-ROM(1枚)、ペーパーカセット(1個)、スペーサー(1個)、保証書*		

*保証書は外装箱に貼付されています。ご確認ください。

■ 仕様および外観は改良のため変更することがあります。

■ CD-ROMの内容

- プリンタドライバ
- プリンタドライバガイド

プリンタドライバガイドはPDFファイルです。PDFファイルをごらんいただくためにはAdobe® Reader®が必要です。

Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

別売品

■ ペーパー/インクリボンセット(プリント用紙+リボンカートリッジ)

形名	サイズ	プリント数	用途	備考
CK30S	Sサイズ	80枚	カラープリント用	3パック入り
CK30L	Lサイズ	50枚	カラープリント用	4パック入り

■ CP30用クリーニングキット

形名
CS30

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

- ◎ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- ◎ 保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカラープリンタの補修用性能部品の、製造打切り後最低8年間保有しています。

（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「サービスをお申しつけの前に」をよくごらんになって、今一度お調べください。

それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

- ◎ 保証期間中は
 - ・ 修理の際には、保証書をご提示ください。
 - ・ 保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- ◎ 保証期間が過ぎているときは
 - ・ 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。
- ◎ 修理料金は
 - ・ 修理技術料+部品代（+出張料）で構成されています。

この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This DIGITAL COLOR PRINTER is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

■ INTERNET INFORMATION ■ この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp>

技術的なお問い合わせは三菱電機VCPテクニカルセンターへ。

（フリーダイヤル）



0120-710-391

075-353-0666

（携帯電話、PHSでのお問い合わせの場合）

※通話料はお客様負担です。

受付時間/AM9:30~12:00・PM1:30~5:00
（土、日、祝日を除く）

FAX 075-353-0685 E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

愛情点検

長年ご使用の三菱デジタルカラープリンタの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により商品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、プラグが非常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源スイッチを入れても、映像が出ない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルカラープリンタの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地



8 7 1 c 6 8 0 c 1 0

PRINTED IN MALAYSIA